記者発表資料
令和２年１１月２６日
企画調整局ＳＤＧｓ推進室

「市民力」で地域課題を解決！
ＳＤＧｓクラブ「プロジェクトチーム」について

北九州市では、地域課題の解決の解決に向け、北九州ＳＤＧｓクラブに加入する市民や企業、団体等が連携して取り組む「プロジェクトチーム」を推進しています。これは、ＳＤＧｓを推進する「市民力」の高さを示す、他都市にはない取り組みです。
今回、新たなプロジェクトチームが発足したことに伴い、令和元年度から今年度まで継続して活動しているプロジェクトチームと合わせ、ご紹介いたします。

１　プロジェクトチームとは

プロジェクトチームとは、北九州ＳＤＧｓクラブ会員が地域課題の解決のため、「プロジェクト」を提案し、その趣旨に賛同する他のクラブ会員と連携して取り組みを進める活動です。令和元年度から開始しました。
このプロジェクトチームを推進することで「地域課題の新たな解決モデル」の創出を目指します。

２　令和元年度に発足したプロジェクトチーム　４チーム

北九州市の地域防災力向上のためのアクションプラン
提案者：明治学園高等学校
概　要：防災意識の向上のため、高校が主体となって被災地巡検・シンポ・小学生向け防災授業などを実施。

企業・事業所対抗「ウォーキング大会」
提案者：日本生命相互会社
概　要：健康寿命を延ばすため、携帯アプリを活用し、企業対抗バーチャル運動会を実施。

教育コンテンツ　Rethink YAWATA
提案者：㈱ＪＴＢ
概　要：八幡の観光コンテンツを地元の学生と発掘し、観光商品として発信。

学びのスクランブル交差点
提案者：永末 康介（北九州市立大学 基盤教育センター）
概　要：「学び」の支援を行い「高・大・産」の接続を推進することで、地方創生の実現を目指す。

３　令和２年度に発足したプロジェクトチーム　２チーム

北九州のまちを美しく！プロジェクト
提案者：日本たばこ産業㈱
概　要：携帯等のアプリを活用し、清掃活動の成果を地図上で「見える化」する。市内の清掃活動を行う様々な団体を巻き込み、美しいまち北九州を目指す。

NEW
紙の循環から始める地域共創プロジェクト
提案者：紙の循環から始める地域共創プロジェクト推進フォーラム
概　要：使用済みの紙を再生紙にする「PaperLab」の共同利用による資源循環の実証を行う。分別、再生加工等について障害者福祉事業者が主体的参画することで障害者雇用機会の創出と職域拡大を目指す。

問い合わせ先
企画調整局ＳＤＧｓ推進室　上田・宇野（５８２－２３０２）

（No,1）

令和元年度

北九州市の地域防災力向上のためのアクションプラン
～産官学民連携　防災・減災意識啓発プラン『北九州モデル』～

提案者：明治学園中学校・高等学校　自然災害と防災・減災チーム

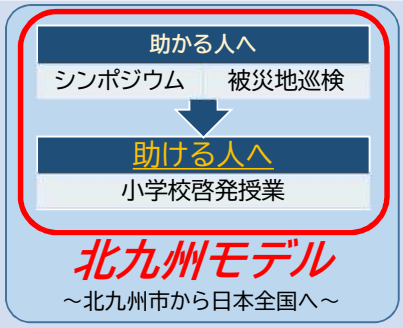
プロジェクトの目的（解決したい課題など）

近年日本では自然災害が多発しており、従来から自然災害が少ないと言われていてきた北九州地域においても他人事とは言えない。そうした中、いざというときのために、北九州地域の「地域防災力」向上を図ることは急務である。
本プロジェクトは、地域防災力向上のための啓発活動を、産官学民連携　防災・減災意識啓発プラン『北九州モデル』として実施し、このプランを日本全国への普及を図ることを目的とする。

関連するゴール　4・11・17

活動概要

活動①
　防災・減災意識向上のためのシンポジウム企画・開催
活動②
　防災・減災意識向上のための被災地巡検企画・実施
活動③
　防災・減災意識向上・普及のための小学校啓発授業実施
活動④
　防災・減災意識向上のための新規啓発プラン考案・実施



成果・数値目標　防災・減災意識向上のための啓発活動 延べ参加高校・大学数10校　など

（No,2）

令和元年度

教育旅行コンテンツRethink YAWATA

提案者：株式会社JTB北九州支店

プロジェクトの目的（解決したい課題など）

北九州市立大学とＪＴＢが協業し、ＳＤＧｓ未来都市北九州を舞台に旅行コンテンツを開発するもの。ＳＤＧｓを織り込んだ教育旅行を提供することは、「交流人口の増」に寄与し、さらには「ＳＤＧｓの認知度」向上に貢献する。
域外・域内の中高生対象としたＳＤＧｓを学ぶ教育旅行コンテンツを提供することで、次世代を担う若者に自分ごととして“まちづくり”を考えるきっかけをつくる。

関連するゴール　**４．質の高い教育をみんなに　　１１．住み続けられるまちづくりを**

活動概要

北九州市立大学地方創生学群小林ゼミの学生とＪＴＢが協業し、域外・域内からの教育旅行コンテンツを造成。

・約4時間程度の体験プログラムとする
・フィールドワーク（町歩き）とワークショップ２部構成。
・ファシリテーターとして大学生が、４～７名の班構成した中高生を引率
・3回程度のトライアル実施
・舞台は、東田地区

成果・数値目標　2020～2021年度に開催する「Rethink YAWATA」のプログラム　参加者数（目標100名）

（No,3）

令和元年度

北九州市 企業・事業所対抗ウォーキング大会

提案者：日本生命保険相互会社　北九州支社

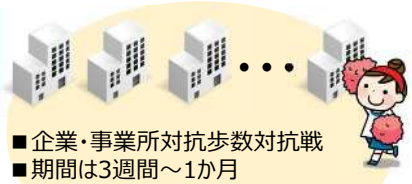
プロジェクトの目的（解決したい課題など）

■全国平均に劣後している健康寿命の全国平均へのキャッチアップ
■市として掲げている「健康（幸）寿命プラス2歳」の中で、2022年までに目指す姿の項目「6.健康づくりに取組む企業100社以上を目指します。」の達成

関連するゴール　「３：すべての人に健康と福祉を」「８：働きがいも経済成長も」

活動概要

北九州市 企業・事業所対抗ウォーキング大会



■企業・事業所対抗歩数対抗戦
■期間は3週間～1か月
■計測や途中経過はスマホアプリ上で管理
■企業・事業所と個人で順位賞
■目標：100社参加

■アプリ上で参加企業の順位や自所属内の自分の順位もリアルタイムで確認!!
※スマホアプリaruku&(あるくと)使用

上位企業・事業所と個人には順位賞贈呈!!

運営・対面サポート 日本生命

■大会運営とアプリの管理
■イベント告知やアプリの登録勧奨など対面サポート
■「GO!GO!あるくっちゃKitaQ」の宣伝も併せて実施

協賛団体とともにイベントを盛り上げ

効果検証　順位賞賞品提供　メディアでの告知　ウォーキングイベント等とのコラボ　等

協賛団体には、北九州支社700名の営業職員網での協力(ビラ配布、アンケート)やイベント参加者へのアプリ上宣伝、日本生命での社内斡旋を検討

成果・数値目標　イベント動員100社以上

（No,4）

令和元年度

学びのスクランブル交差点

提案者：　永末康介（北九州市立大学　基盤教育センター）

プロジェクトの目的（解決したい課題など）

SDGs全体の達成のためには、未来社会を支える人材育成が不可欠である。その社会課題解決に向けて、教員に加えそれ以外の人たちが協同して教育に関して対話や交流できる場を作ることが一義的な目的である。そして、その場における学びを教育現場に還元させて、これからの若者などがより良い「市民」（future-ready “citizen”）になるように手助けすることを使命としたい。

関連するゴール　4. 質の高い教育をみんなに　8. 働きがいも経済成長に　17. パートナーシップで目標を達成しよう

活動概要

① ワークショップなどを含む情報交流会 [年数回]
（教育に関する情報交換 [ex.「総合的な探究の時間」、高大接続、産学連携]や、企業などから教育機関に向けたSDGsを活用した教育コンテンツなどの紹介）

② 教育機関でのSDGs関連教育 [通年]
（①などで得られた知見を通じた学習者に向けた教育の提供）

③ 成果報告会 [2～3月予定]
（各教育機関などでの教育活動や②で得られた学習者の成果を披露する場）

成果・数値目標　2020年度の成果発表会での参加団体数：30団体（教育機関含む）

（様式１－２）

令和２年度

北九州のまちを美しく！プロジェクト

提案者：日本たばこ産業株式会社　北九州支店

プロジェクトの目的（解決したい課題など）

清掃活動を通じて、捨てない心を育みたいと考えています。
ごみ拾いSNS「ピリカ」を活用し、各SDGsクラブ会員が行っている清掃活動を繋げ、
クラブ会員同士の連携促進を図ります。

関連するゴール　**15･17（陸の豊かさを守ろう、パートナーシップで目標達成）**

活動概要

1.定期的な清掃活動
場所：小倉駅～小倉城周辺/堺町･鍛冶町周辺/黒崎駅周辺
頻度：2か月に1回程度　10月･11月･1月･3月を予定
いつ：（小倉）第二金曜日　9:00 or 10:00（八幡）第二木曜日　10:00-
どこで：（小倉）小倉駅周辺（八幡）黒崎駅周辺
　※第一回目は10月8日（木）10：00～黒崎駅で実施いたします。
　※第二回目以降の集合時間･場所の詳細は別途連絡いたします。

2.イベントでの清掃活動
コロナ禍により計画ができない状況です、実施可能になればご連絡致します。

プロジェクト実施計：5～6回予定（2020年9月～3月）
※各クラブ会員が行っている清掃活動での参加もOK！ピリカで繋がり、
　北九州SDGsクラブを盛り上げましょう！

世界中で深刻な脅威となっている
ポイ捨てごみ問題。ピリカはそんな問題を
『繋がる』という観点からみんなで
取り組むことを目指したSNSです。
リアルタイムでごみ拾いを報告しあい、
世界を少しだけ変えることができます。

成果･数値目標
数値：参加団体･企業･･･20以上の団体･企業の参加　参加人数･･･300名以上の参加
成果：プロジェクト参加者の意識の変化（まち美化に対する意識･行動、クラブ会員連携による相乗効果等）

新

（様式１－２）

令和２年度

紙の循環から始める地域共創プロジェクト

提案者：　紙の循環から始める地域共創プロジェクト推進フォーラム

プロジェクトの目的（解決したい課題など）

北九州市八幡東区内での「紙循環システムの構築」と「新たな雇用の創出」を通して、環境×経済×社会の価値共創と、サーキュラー＆シェアリング社会の実現を目指す

関連するゴール

ゴール6：安全な水とトイレを世界中に	ゴール7：エネルギーをみんなに そしてクリーンに	ゴール8：働きがいも 経済成長も
ゴール9：産業と技術革新の基盤をつくろう	ゴール11：住み続けられるまちづくりを	ゴール12：つくる責任 つかう責任
		ゴール15：陸の豊かさも守ろう

活動概要

①：「地域内における紙の循環システム」の社会実証
i)サーキュラー＆シェアリングエコノミーの実現
・地域の企業、団体、学校、自治体等（以下プロジェクト会員）の協働により使用済み古紙を回収、「ペーパーラボ」※の共同利用、再生紙からアップサイクル製品を開発、共創し、地域に還元する
ii)包摂性の高い社会の実現
・分別、再生加工等については
　障害者福祉事業者が主体的参画
　→障害者雇用機会の創出と職域拡大を目指す

②：「SDGs貢献活動の情報発信」
・プロジェクトメンバーの本活動への協力、
　取り組み内容を各種メディアを通じ情報発信

成果・数値目標
２０団体以上のプロジェクト参加、１０団体以上の古紙回収もしくはアップサイクル製品の購入サービス利用（2021年度以降）
２０２２年３月末までに４０万枚のA4PPC用紙の古紙回収など

これ以外にも、複数のプロジェクトチームが
発足に向け準備中です。

ご期待ください。

参考ホームページアドレス

・北九州市ホームページ（北九州SDGsクラブプロジェクトチーム）
http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kikaku/324_00011.html

・北九州ＳＤＧｓクラブホームページ
http://www.kitaq-sdgs.com/

【参考】北九州SDGsクラブについて

１　目的

SDGsの達成に向けた産学官民による幅広い活動の推進のため、SDGsに関連する活動に取り組んでいる、または関心を持っている団体・企業・個人等が自由に参加できる場を提供し、会員同士の交流や情報交換を通じて、各々の活動の活性化を目指すことを目的とする。

２　会員

（1）SDGsの達成に関する活動を実施している団体・企業・個人等
（2）SDGsに関心をもつ団体・企業・個人等
（3）大学、高等学校等の教育機関及びその学生・生徒・教職員等

３　活動内容

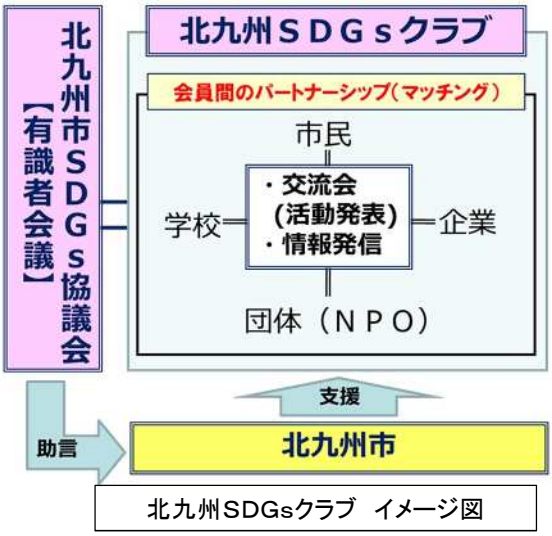
（1）会員の募集
（2）会員の活動等の情報共有及び交流会の開催
（3）会員の活動内容等の情報発信（PR）
（4）会員による先進的、モデル的な活動のPRなど

４　会員数

1，150（令和2年10月31日現在）
（内訳）企業：391、団体：182、学校238、市民：339

５　参考（市ホームページ　SDGsクラブについて）

http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kikaku/02000160.html



北九州SDGsクラブ　イメージ図

関係各位

令和２年 11 月吉日

「紙の循環から始める地域共創プロジェクト」推進フォーラム事務局
エプソン販売株式会社　スマートチャージ MD 部　ペーパーラボ MD 課

「紙の循環から始める地域共創プロジェクト」推進フォーラム（第一回）ミーティングのご案内

拝啓　晩秋の候　ますますご清栄のことお慶び申し上げます
平素は格別のご高配を賜り 厚くお礼申し上げます
さて　このたび本フォーラムでは第一回目のミーティングを下記のとおり開催することになりました。
今回のミーティングでは、プロジェクト推進に際し、フォーラムのご説明、各種情報共有等を行います。
ご多忙中誠に恐縮に存じますが　この機会に是非ご来臨賜りますようご案内申し上げます

敬具

記

日程：令和２年１１月２７日（金）
時間：15：30～17：00（受付 15：15）
会場：ヒューマンメディア創造センター　マルチメディアホール
〒805-0071 福岡県北九州市八幡東区東田１丁目５－７

<ヒューマンメディア創造センター周辺マップ>

◆e-mail にてご参加の有無、ご参加いただける場合は人数をお知らせください。
お申込み・お問い合わせ先　TADA.YUKI@exc.ehb.epson.co.jp
＊定員になり次第締切とさせていただきます。お早めにお申込みください。

以上

電話でのお問い合わせ先
エプソン販売株式会社
03-5919-5211（代表）